

2015年6月25日

各位

東北労働金庫

決算概況のお知らせ

東北労働金庫（本店 仙台市 理事長 高橋 壽）の、2014(平成 26)年度決算の概況等についてお知らせいたします。

記

1. 2014(平成 26)年度決算の概況

(1) 預金及び貸出金の状況 (単位：億円、%)

	2015年3月末	2014年3月末	増加額	増加率
預金残高	17,340	16,658	681	4.0
貸出金残高	11,034	10,882	152	1.3

(注) 単位未満の端数は切り捨てて表示しています。

- ① 預金残高は、個人預金が伸びて1兆7,340億円(譲渡性預金含む)となり、前年度比681億円(+4.0%)の増加となりました。
- ② 貸出金残高は、消費税増税後の需要の落ち込みや住宅着工件数の伸び悩みもありましたが、ローンセンターの拡充や住宅業者対策の強化等により住宅ローン中心に増加して1兆1,034億円となり、前年度比152億円(+1.3%)の増加となりました。

(2) 損益の状況 (単位：百万円、%)

	2014年度	2013年度	増減額	増減率
経常収益	30,030	30,510	△480	△1.5
経常費用	24,026	26,949	△2,922	△10.8
経常利益	6,003	3,561	2,441	68.5
業務純益	6,035	3,418	2,616	76.5
コア業務純益	5,044	2,673	2,370	88.6
特別利益	-	48	△48	△100.0
特別損失	176	117	59	50.6
当期純利益	4,216	2,427	1,788	73.6

(注) 単位未満の端数は切り捨てて表示しています。

- ① 経常収益は300億30百万円となりました。資金運用収益が増加しましたが、国債等債券売却益の減少などにより、前年度比4億80百万円(△1.5%)の減少となりました。
- ② 経常費用は240億26百万円となりました。資金調達費用が増加しましたが、新システム移行等の終了により経費が減少し、また国債等債券売却損が減少したことなどにより、前年度比29億22百万円(△10.8%)の減少となりました。
- ③ 臨時収益には貸倒引当金戻入益や睡眠預金収益繰入金など2億53百万円を計上しました。
- ④ 特別損失には固定資産処分損や減損損失を計上しました。
- ⑤ この結果、経常利益は60億3百万円(前年度比+24億41百万円)、業務純益は60億35百万円(前年度比+26億16百万円)、当期純利益は42億16百万円(前年度比+17億88百万円)となり、2003年10月の東北労働金庫統合以来、最高益となりました。

(3) リスク管理債権等の状況

① リスク管理債権

(単位：百万円、%)

	2014年度	2013年度	増減
破綻先債権	608	645	△37
延滞債権	9,303	10,046	△742
3ヵ月以上延滞債権	490	491	△1
貸出条件緩和債権	230	—	230
合 計	10,631	11,182	△551
(リスク管理債権比率)	0.96	1.02	△ 0.06

(注) 単位未満の端数は切り捨てて表示しています。

2014年度末におけるリスク管理債権の総額は、106億31百万円となり、前年度末より5億51百万円減少しました。

リスク管理債権比率(貸出金総額に占める割合)も0.96%に低下しました。

② 金融再生法(金融機能の再生のための緊急措置に関する法律)に基づく開示債権額

(単位：百万円、%)

	2014年度	2013年度	増減
破産更生等債権	2,790	2,813	△23
危険債権	7,299	8,072	△774
要管理債権	720	491	229
不良債権計	10,809	11,377	△568
正常債権	1,094,545	1,078,989	15,556
合 計	1,105,354	1,090,365	14,988
(不良債権比率)	0.97	1.04	△ 0.06

(注) 単位未満の端数は四捨五入して表示しています。なお比率は切り捨てて表示しています。

2014年度末における金融再生法上の不良債権総額は108億9百万円となり、前年度末より5億68百万円減少し、不良債権比率は0.97%に低下しました。

(4) 自己資本比率

2015年3月期の自己資本比率は、前年度の9.75%から0.13ポイント上昇して9.88%となりました。自己資本額(分子)の増加は37億9百万円となりました。一方、資産等(分母リスクアセット額)は265億95百万円の増加となりました。

以上

[本件に関するお問い合わせ先]

東北労働金庫総合企画部 目黒、鈴木、渡辺
TEL 022-723-1114

労働金庫は「働く人の夢と共感を創造する協同組織の福祉金融機関」です。
今後ともご支援下さいますようお願い申し上げます。